

第1学年 国語科学習指導案

日時 平成30年9月27日(木) 5校時
児童 第1学年 男1名 女7名 計8名
指導者 菊地幸子

- 1 単元名 のりもののことを しらべよう
- 2 学習材名 「いろいろなふね」 (東京書籍1年下)
- 3 付けたい力と言語活動

〈付けたい力〉

- ◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 C(1)イ
- ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。 B(1)ウ

【視点1】

(言語活動)

- ◎乗り物についての本を読んで調べたことを基にして、乗り物図鑑を作る。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期の説明文教材「どうやってみをまもるかな」の学習において、文章のまとまりを意識しながら挿絵と文章をつないだり、それぞれの動物について書かれている文章が挿絵のどの部分にあたるのかを確認したりしながら学習を進めた。また、動物のからだのつくりと身を守る方法が分けて書いてあることを読み取り、話題提示、問いかけの文、それに対する答えといった説明文の基本的な形を学ぶことができた。さらに、好きな動物についてクイズを作り紹介し合うこともできた。しかし、説明されている事柄の順序を考えながら内容を読み取ったり、文章の中から求められている言葉や文を抜き出して書いたりする力の差は大きく、十分身に付いているとは言えない。必要な情報を整理してまとめる力も、これから身に付けさせていかなければならない力である。

(2) 学習材について

本教材は、特徴的な機能をもった四種類の船を例として取り上げ、役目や構造、装備などについて説明した文章である。全体は、話題提示、四種類の例示、まとめというように、分かりやすい文章構成になっている。また、4種類の船の例示が「やくめ」「つくり」「できること」の順序で書かれており、同じ文章構成、同じ文型で説明されているため、叙述に対して内容を正確に捉えたり、説明文としての基本的な構成を理解させたりすることに適している。

また、3つの視点で調べたことをまとめていくことにより、書かれている事柄の順序に気を付けて、内容の大体を読み取る力を身に付けることができる。さらに、自分で調べた乗り物について書いていく学習へ発展させていくことができる。

(3) 指導に当たって

本単元では、「書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取る力を付けること」を目標とする。そのために、教材文の内容を読み取った後、教材に関連したテーマについて本を選んで読み、調べたことをまとめる活動を設定する。

第一次では、船の写真を見たり、乗り物に乗った経験を話し合ったりすることを通して、乗り物に興味をもたせる。その後、教材文を読んで感想を話し合い、「のりものずかん」を作るとい

う課題を設定し、乗り物図鑑のモデルを示すことで単元のゴールを見通すことができるようにする。乗り物図鑑作成のためには、乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」という3つの観点から、単元全体を通して読み取ったり、カードを書いたりするための要素であることを押さえさせたい。次に、「説明文の家」として説明文の構成を捉える場を設定し、本文はいくつの「大部屋」から構成されているか、「説明の大部屋」はいくつの小部屋からなるかを考えさせ、それぞれの小部屋に名前を付ける。このような学習を行うことで、「いろいろなふね」の基本構成を捉えることができるようにしたい。

第二次では、それぞれの船について、文章の中から乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」について手掛かりとなる大事な言葉や文を見付け、写真と対応させながら内容を正確に読み取らせていく。主語・述語の関係に気を付けながら、それぞれの船の特徴について読み取らせていきたい。また、読み取った内容については3つの視点を整理してカードにまとめ、「のりものずかん」作りにつなげていくようにしたい。

第三次では、学習した説明文の書き方を生かしていろいろな乗り物について調べ、「のりものずかん」づくりに発展させていく。3つの視点に沿って書かれた文型を基にしてまとめることで、説明文の基本的な構成を理解させ、必要な情報を見付けてまとめる力も身に付けることができるようにしたい。

5 単元目標

○興味をもって教材文を読んだり、伝えたい思いをもって調べたりしようとする。

【関心・意欲・態度】

◎事柄の順序に気を付けながら、内容の大体と文章の構成を読み取ることができる。 【読C(1)イ】

◎大事な言葉や文を見付けながら読むことができる。 【読C(1)エ】

○語と語とのつながりを意識しながら整理して書くことができる。 【書B(1)ウ】

○主語と述語の関係に気を付けて読むことができる。 【伝国(1)イ(カ)】

6 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	乗り物に興味をもって教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとしている。
読む能力	乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」の順序に気を付けて、内容の大体と文章の構成を読み取っている。 (イ) 乗り物の「やくめ」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見付けながら読んでいる。 (エ)
書く能力	乗り物の特徴が伝わるように、「やくめ」「つくり」「できること」に整理し、語と語とのつながりを意識しながらカードに書いている。 (ウ)
言語についての 知識・理解・技能	主語と述語の関係に注意して、どの乗り物について書かれている内容なのかを考えながら文章を読んでいる。 (イ)カ

7 単元指導計画 (全13時間)

次	時	主な学習活動
一	1 2	○教科書の写真や船について知っていることを話し合う。 ○全文を通読して内容の大体を捉える。 ○のりものずかんのモデルを提示し、学習の見通しを立てる。 ○乗り物に関連する図書を並行して読んでいくことを確認する。
	3 本時	○教材文を読み、説明文の仕組みを知る。 「はじめ」「なか」「おわり」の文章構成を捉え、説明文の家をつくる 【視点2】
二	4	○「やくめ」「つくり」「できること」に着目して「きゃくせん」について書かれていることを読み取り、カードにまとめる。
	5	○「やくめ」「つくり」「できること」に着目して「フェリーボート」について書かれていることを読み取り、カードにまとめる。

	6	○「やくめ」「つくり」「できること」に着目して「ぎょせん」について書かれていることを読み取り、カードにまとめる。
	7	○「やくめ」「つくり」「できること」に着目して「しょうぼうてい」について書かれていることを読み取り、カードにまとめる。
三	8 9	○小部屋に書かれていること（4種類の船）について共通点を考え、のりものずかんの書き方を知る。
	10	○他の乗り物について書いてある本を読み、その「やくめ」に合った「つくり」や「できること」を資料から読み取る。
	11 12	○他の本を読んで好きな乗り物について調べてカードにまとめ、のりものずかんを作る。
	13	○調べたことを互いに読み合い、感想を交流する。 ○単元の学習を振り返る。

8 本時の指導

(1) 目標

「いろいろなふね」を読んで「説明文の家」を作り、説明文の構造を捉えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動と学習内容	指導上の留意点 ○支援 ◎評価
導入 5分	<p>1 教材文に出てきた船を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かれている内容の順番を確認する。 きゃくせん・フェリーボート・ぎょせん・しょうぼうてい <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">おはなしのまとまりを かんがえよう。</div>	<p>○写真を提示し、4つの船について書かれていることや、書かれている内容の順番を確認する。</p>
展開 35分	<p>3 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 教材文の説明している部分について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材文を音読する。 全体で「きゃくせん」について表している文を探し、シールを貼る。 「フェリーボート」「ぎょせん」「しょうぼうてい」について、ペアで写真を手掛かりにしながらそれぞれの船を表している文を探し、それぞれのシールを貼る。 <p>(2) 教材文の文章構成を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体で、船について説明している部分の確認をする。 4つの船の説明以外のところを探し、何が書いてあるかを考える。 「はじめ」「なか」「おわり」のまとまりを捉える。 <p style="text-align: right;">【視点3】</p>	<p>○それぞれの船の説明が、文章のどこからどこまでなのかを考えながら読ませる。</p> <p>○「客船」を例に、文の探し方を全体で確認する。</p> <p>○ペア活動では、根拠を挙げながら話し合った上でシールを貼ることを確認する。</p> <p>○一文一文に船ごとのシールを貼りながら、文章がどの船のことを表しているのかを捉えさせる。</p> <p>○文章と写真を結び付けたり、ヒントになる言葉を確認したりして、対応させることができるようにする。</p> <p>○「はじめ」と「おわり」の文章が、4つの船の具体について述べている文章ではないこ</p>

	<p>(3) 「説明文の家」を作り、説明文の基本的な文章構成を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「なか」「おわり」の大部屋を作る。 ・「なか」の文を小部屋に分ける。 ・小部屋に名前をつける。 <p style="text-align: right;">【視点2】</p> <p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「説明文の家」をもとに、説明文が「はじめ」「なか」「おわり」の3つに分けられることを確認する。 	<p>とに気づかせる。</p> <p>○文章が、4つの船の説明の部分と話題提示、まとめの6つの部分で構成されていることを捉えさせる。</p> <p>◎それぞれの文章がどの船の説明をしているのかを考えながら、全体を6つのまとまりに分けて、説明文の基本的な文章構成を捉えている。 (発言・観察)</p> <p>○説明文は、「はじめ」「おわり」と「なか」の説明の部分で構成されていることを確認する。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>5 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で分かったこと等について発表する。 <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<p>○今日の学習で身に付けた力を振り返り、全体への価値付けを図る。</p>

(3) 評価

B：それぞれの文がどの船の説明をしているのかを考えながら、全体を6つのまとまりに分けて、説明文の基本的な文章構成を捉えている。

支援：それぞれの船の写真について説明している文章がどの部分にあたるのかを考えさせ、写真と合わない内容について書かれている文章があることに気付かせる。

(4) 板書計画

